

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

小中学生の部

奥の細道
むすびの地



令和五年九月度 入賞句一覧

投句数 千三百九十八句

特選

遠藤 幹郎 選

よく食べるぼくのクワガタ元気だな

大垣市

大橋 琉斗(小四)

作者にとつて大事なクワガタ。そのクワガタは、食欲が旺盛でとても元気だと誇らしげです。きつと、毎日の世話がよくできているからでしょう。作者も元気よく登校していることでしょう。昆虫好きで、気取らず素直な人がらのうかがえる一句です。

まど開けて耳をすませば虫の声

大垣市

三宅 彩葉(小六)

家の庭や回りには、秋になるとコオロギをはじめ、いろんな虫が鳴いています。でも、家の中までは鳴き声は聞こえません。作者は、夜窓を開けて耳をすますと、あちこちから虫の声が聞こえてきたというのです。姿は見えなくても、秋の夜長を虫の音に聞き入ったのでしょうか。

秋の服長そで半そでなやむ日々

大垣市

井上 航希(小五)

夏から秋に季節の変わり目を迎えたこの頃、朝夕は涼しさを感じるようになりました。そんな朝、着なれた半そでにしようか、長そでにしようかと悩む日々だということです。季節の変わり目を迎えた日々、衣服にこだわる作者の姿が浮かんできて、ほほえましく思われる一句です。

秀逸

せみのこえきくとあつさがばいになる

大垣市

小川 かのは(小二)

家の中風鈴の音鳴りひびく

大垣市

山本 芽咲(小六)

十時過ぎ寝返り続く熱帯夜

大垣市

三日月 悠真(小五)

夏祭り人ごみぬけるとさみしいな

大垣市

服部 瑠南(小六)

コスモスがかぜとなかよくおどつてる

大垣市

中島 香都(小三)

かみしめてあまさ広がる新米だ

大垣市

森 太一(小五)

流れ星ねがいをこめて消えてゆく

大垣市

梅田 慧有(小六)

帰り道みんなで遊んだ猫じゃらし

大垣市

安田 悠人(小六)

母作る甘くておいしい栗きんとん

加茂郡川辺町

佐伯 倫太郎(中二)

土色のバツタが跳ねるアスファルト

加茂郡川辺町

白村 友莉(中二)

入選

すいかきりふくろでもみもみジュースだよ	大垣市	ふたむら そうた(小二)
かぜがふくまわりのおちばおどらせる	大垣市	しんどう もえ(小二)
ペットボトル洗うふりして水あそび	大垣市	佐藤 祐(小二)
帰り道秋の夕焼伸びるかげ	大垣市	安藤 稟乃(小六)
夏休みはくねつだった甲子園	大垣市	梅田 悠介(小六)
くりのとげゆびにあたっていたいんだ	大垣市	竹中 愛音(小三)
こおろぎの音色を聞いてリラックス	大垣市	野中 蒼志(小五)
秋刀魚焼くそんな景色は過去のもの	大垣市	石谷 颯志(小六)
せみの声しばらくするとパツとやむ	大垣市	浅野 花瑠(小六)
夏休みもうすぐ終わる秋近し	大垣市	五島 唯登(小六)
鈴虫が元気に鳴くよリズムよく	大垣市	山岸 未歩菜(小六)
夏休み思い出いつぱいつくつたよ	大垣市	中山 奈音(小六)
稲を刈り模様替える田んぼたち	加茂郡川辺町	日下部 巧実(中三)
干柿が彩る壁は赤黄色	加茂郡川辺町	有本 真宏(中二)
ひつじ雲夕日と一緒に秋が来る	加茂郡川辺町	三嶋 心乃(中三)
金色の穂を見て感じた秋が来た	加茂郡川辺町	長谷部 流星(中三)
空の下応援の声運動会	加茂郡川辺町	栗本 愛佳(中三)
一面に咲きほこる花彼岸花	加茂郡川辺町	佐伯 衣緒里(中三)
十五夜をベランダで見る夜八時	加茂郡川辺町	山田 海羽(中三)
どんぐりが季節の変わり目報告中	加茂郡川辺町	瀬瀬 瑛音(中三)

小中学生の部

選者吟

辻地藏手向けられたる彼岸花

幹 郎

